



# 競技ガイドライン

Vol.12 20200120

## 新ボールの対応について

■ 2019年度は下記の大会において指定ボールを採用します。

- 地域リーグ
- 全日本社会人OAバスケットボール選手権大会
- 全日本社会人バスケットボール選手権大会
- 全日本社会人バスケットボール選手権大会各ブロック予選
- 全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ



**(株) モルテン社製**

**品名 : BG5000**

**7号 / 品番 : B7G5000**

**6号 / 品番 : B6G5000**

**2020年度からはすべてのJSB主催大会で採用**

## 2019バスケットボール競技規則について

JSBでは各種全国大会・各種ブロック大会・地域リーグは2019バスケットボール競技規則を完全採用します。  
ただし、各都道府県予選・各都道府県リーグ戦についてはユニホーム規程に関しては各都道府県の社会人連盟の裁量に任せます。

**特に下記のルールに関しては各大会での徹底をお願いします。**

### 4-3 ユニフォーム

#### 4-3-1

- シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない
- ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの、ソックスは見える状態であればならない。
  - ※ユニホームと同色でなくても良い。
  - ※長さは不揃いでも構わない。
  - ※サポーターでソックスが見えなくなる場合、出来るだけソックスが見える状態にしてください。

### 4-4 その他の身につけるもの

#### 4-4-2 プレーヤーは、他のプレーヤーに怪我をさせる可能性があるものを着用してはならない。

- 次のものは身につけても差し支えない：
    - 腕や脚のコンプレッションスリーブ
    - 膝の装具で、適切にカバーされているもの
    - リストバンドやヘッドバンドは、最大10cmの幅で、繊維素材のもの
- 同じチームの全てのプレーヤーの、腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは**全て同じ単色**でなければならない。

**※ すべての身につけるものは、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。  
(チームで統一ではあれば何色でも構いません※2019年度ルール対応)**

体育館の設備で暖房等が無い場合は大会主催者の決定によりユニフォームの下にコンプレッションの半袖・長袖のシャツの着用を認めます。

**色に関してはチームで統一ではあれば何色でも構いません。  
またライン・柄などは認めない。メーカーロゴは1カ所のみOKとします。**

**※暖房設備がある体育館では原則認めない。**

## 2019ルールの変更点

### ユニフォーム（4-3）

目的：詳細を追加する。

変更点：

- **シャツとパンツは同じ主となる色**でなければならない
- シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない
- **ソックスは見える状態**でなければならない
- シューズは色の組み合わせは自由であるが、**左右は必ず同じものでなければならない**。点滅するライト、反射素材やその他の装飾物は認められない

### チームの身につけるもの（4-4）

目的：詳細を追加する。

変更点：次のものは身につけても差し支えない：

- 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- 腕や脚のコンプレッションスリーブ
- ヘッドギア。顔の一部（目、鼻、唇等）あるいは全部を覆うものではなく、着用するプレーヤーあるいはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。またヘッドギアは顔や首に開閉部分を持たず、表面に突起物があるてはならない - 膝の装具で、適切にカバーされているもの
- 負傷した鼻のプロテクター（硬い素材で作られたものを含む）
- 無色透明なマウスガード
- 眼鏡で、他のプレーヤーに危険が及ばないもの
- リストバンドやヘッドバンドは、最大10cmの幅で、繊維素材のもの
- 腕や肩、脚等のテーピング
- 足首の装具

同じチームの全てのプレーヤーの、腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは全て同じ単色でなければならない。

**※ すべての身につけるものは、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。  
（チームで統一ではあれば何色でも構いません※2019年度ルール対応）**

### リバーシブル



### リバーシブルのユニホームについて

JBAの競技規則では

4-3-3 各チームは、シャツを2セット以上用意しておかなければならない。

となっているのでリバーシブルのユニホームは不可となります。※リバーシブルを濃淡2着用することはOK  
ただし、各都道府県の大会についてはユニホーム規程に関しては各都道府県の社会人連盟の裁量に任せます。

身につけることができないもの

×色つきのライン



×色違い



×単色では無い



5color

※ワンポイントのロゴはOK

×無色透明では無い



×上下のユニホームと主となる色が同じではない



×単色では無い



※ワンポイントのロゴはOK

## サポーターの使用について

### サポーターについて

部分的に色の違う箇所を覆う必要はありません。



※白色のサポータとみなします



※黒色のサポータとみなします



※黒色のサポータとみなします

### 装具について（色を揃える必要がないもの）



装具とは、骨折や術後の治療に必要な固定や免荷そうぐのことで、**病院で診察を受け、医師の処方もとに製作し、一時的に使用されるものです。**スポーツショップなどで購入した市販サポーター類は含みません。

## コーチライセンス運用について

大会時のコーチライセンス運用について下記の手順で行いますので、御対応の程よろしく申し上げます。

### ●コーチとは

- 試合中実際に指揮を執る者
- 各大会で定められたJBA公認ライセンスを有すること
- 試合前にスコアシートにサインする者
  - ※監督、部長、アシスタントコーチはスコアシートにサインできません。
- 大会プログラムのコーチ名と上記は同一人物になるように大会の申込みをすること
- 試合前にスコアシートにサインする際にアシスタントコーチを指定すること

### ●コーチが選手として試合出場する場合は

- コーチが選手として出場している時間はアシスタントコーチがコーチの任務と権限を引き継ぐ。
  - ※2019競技規則 第7条6
- コーチが試合に出場してる時間は選手として扱われる。
  - ※コーチ兼選手が選手として出場中にテクニカルファウルが宣された時は選手のテクニカルファウルとして扱われるれ、審判が交代選手を招き入れた後にコーチ兼選手がテクニカルファウルを宣された時はコーチのテクニカルファウルとして扱われる
- アシスタントコーチも選手として出場している時間はベンチに残っている者がタイムアウトをTOへ請求できる。※JSBのみ特別ルール

## コーチライセンス運用について

試合時のコーチライセンス運用について下記の手順で行いますので、御対応の程よろしく申し上げます。

①大会運営はスコアシートのコーチの欄にパンフレットの「コーチ」の名前を記載する。

※パンフレットのコーチから試合当日のコーチを変える場合はJBAの下記の申請書を大会本部へ提出し、許可を得ること。

●各大会におけるコーチライセンスの適用基準について

<http://www.japanbasketball.jp/coach/license/>

●大会中のコーチ資格保持者不在による報告書（大会参加チーム→大会主催者）

[http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach\\_licenseStandard\\_report1.pdf](http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_report1.pdf)

●大会中のコーチ資格保持者不在による報告書（大会主催者→JBA）

[http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach\\_licenseStandard\\_report2.pdf](http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_report2.pdf)

↓

②ゲーム開始予定時刻の**7分前**には、各コーチはチームメンバーの氏名と番号、コーチ陣の氏名を確認・同意し、スコアシートにサインをしなければならない。また同時に最初に出場する5人のプレーヤーを明示しなければならない。チームAのコーチが先にこの情報を提供する。

↓

③審判・スコアラーはスコアシートにサインをもらう際に「JBA公認コーチ証」を確認する。

↓

④コーチはサイン後、アシスタントコーチを指名し、審判・スコアラーに伝える。

↓

⑤コーチは試合中は「JBA公認コーチ証」を**ネックストラップ**に入れ**首からぶら下げて常に掲示する**。

### ●コーチとは

ゲーム中、コーチは、ボールがデッドになりゲームクロックが止められているときのみ、審判に礼儀正しくコミュニケーションをとることができる。

### ●アシスタントコーチとは

コーチとアシスタントコーチは、一度にどちらか1人であればゲーム中に立ち続けることを認められている。チームベンチエリア内であれば、ゲーム中にプレーヤーに話しかけることができる。

**アシスタントコーチは審判とコミュニケーションをとってはならない。**

【補足】コーチとアシスタントコーチは、両者が同時に立ち続けることは認められない。